

優れた環境保全活動の表彰

【信州エコ大賞】

長野県内で地球環境保全に力を尽くしている団体や個人に、協会が毎年お贈りしている環境グランプリ、「信州エコ大賞」と「奨励賞」の表彰式が、10月に開かれる通常総会の席上で行われます。

当協会の7支部からの推薦を受けた候補先を、信州エコ大賞審査委員で慎重審査を行われ、企画委員会、理事会で承認されて表彰されるものです。

信州エコ大賞の受賞者先

回数	年度	エコ大賞	奨励賞
1	1 1	株式会社みすず株コーポレーション（長野市） 株式会社ナガノトマト松本工場（松本市） リサイクルシステム研究会（伊那・飯田地区） 茅野市（茅野市）	該当なし
2	1 2	にっぽんこどもじゃんぐる（須坂市） 岡谷市立長地小学校（岡谷市） 飯田市地域における地域ぐるみ環境ISO研究会（飯田市） 岡正子（長野市）	若槻団地自治会（長野市） 小沢花の会（伊那市） 蝦名国廣（松本市）
3	1 3	上田自然探訪の会（上田市） 諏訪湖シャボン普及会（諏訪市） 株式会社竹屋（諏訪市）	中部電力株式会社飯田支店天竜協働隊（飯田市） 山口文男（長野市）
4	1 4	三峰川みらい会議（伊那市）	スハマ会（長野市） 上田市消費者の会（上田市） 株式会社中島屋降旗米穀（松本市） 長野県立富士見高校（富士見町）
5	1 5	諏訪地域「省エネパトロール隊」（諏訪市）	市橋恵美（飯田市） 上田市立保育園21園（上田市） 山富産業株式会社（松本市） 山ノ内グリーンフィールドネットワーク活動（山ノ内町）
6	1 6	日置電機株式会社（上田市）	グリーンクラブいいだ（飯田市） ハッチョウトンボを育む会（駒ヶ根市） 株式会社ヤマウラ（駒ヶ根市）
7	1 7	該当なし	NPO法人地域循環ネットワーク・有限会社に ゆうとん倶楽部（上田市） 信州グリナリー株式会社（長野市） 松本市立筑摩野中学校（松本市）
8	1 8	オムロン飯田株式会社（飯田市） 特定非営利活動団体南アルプス研究会（伊那市）	松本南ロータリークラブ（松本市） しがっ子クラブ（諏訪市） 箕輪町立箕輪中部小学校 環境・省エネ委員会（箕輪町）
9	1 9	該当なし	巴産業株式会社（大町市） 松本市立清水小学校（松本市） 諏訪市消費者の会（諏訪市）

			南信工営株式会社（伊那市）
1 0	2 0	株式会社星野リゾート（軽井沢町） 伊那食品工業株式会社（伊那市）	長野ホテルの会（長野市） 小柳産業株式会社（上田市） 諏訪市立上諏訪中学校（諏訪市）
1 1	2 1	エプソントヨコム株式会社伊那事業所（箕輪町）	有限会社武井農場（安曇野市） ネクストエナジー・アンド・リソース株式会社 （駒ヶ根市）
1 2	2 2	該当なし	特定非営利活動法人べとの会（長野市） 特定非営利活動法人森倶楽部 21（松本市） 駒ヶ根市立赤穂東小学校（駒ヶ根市）
1 3	2 3	株式会社日本ピスコ伊那第二工場（岡谷市）	協同組合長野県中古自動車リサイクルセンター （東御市） ひかり味噌株式会社飯島グリーン工場（飯島町） 米川会（飯田市）
1 4	2 4	特定非営利活動法人やまぼうし自然学校（上田市）	市民の森を創る会（茅野市） 寿さと山くらぶ（松本市）
1 5	2 5	NPO法人いいだ自然エネルギーネット山法師 （飯田市）	上田自然に親しむ会（上田市） 松本市消費者の会波田地区（松本市）
1 6	2 6	該当なし	新山山野草等保護育成会（伊那市） 葦木美咲（茅野市） 大町市立八坂中学校生徒会（大町市） 桐原俊郎（松本市）
1 7	2 7	小泉山体験の森創造委員会（茅野市） リサイクルシステム研究会（伊那市）	エクセラン高等学校（松本市）

回数	年度	特別賞	
1 0	2 0	社団法人長野県経営者協会（長野市）	

平成 27 年の受賞先は次の通りです。

◇第 17 回 信州エコ大賞

▽小泉山体験の森創造委員会（委員長 長田芳男）

茅野市の里山である小泉山を活動拠点として、地域住民が行政と連携しながら遊歩道（登山道）や親水ゾーンを整備し、里山再生をすすめている。住民・保育園・小中学校・大学・PTA など幅広い立場や世代間の交流が環境保全活動を通じてできている。子供たちが小泉山の植物や史跡名所のガイドブックを作製するなど、子供たちの自主性を尊重しながら環境教育のフィールドとしても活用されている。活動経歴は 10 年以上に及び、オオムラサキの保護など活動の幅はさらに広がりを見せていることが評価されました。

▽リサイクルシステム研究会（会長 尾形 徹）

長野県テクノ財団伊那テクノバレー地域センターを母体とする会員企業が連携して、コピー用紙循環回収システムを運営するなど研究会としての活動と、メンバー各社の個々の環境対処を充実させている。また、天竜川水系環境ピクニックの開催、諏訪湖・天竜川水系健康診断（水質調査）および親子での水質調査の実施、K I D S 自然エ

エネルギー活用コンテストの実施など、企業における環境保全活動だけでなく地域社会での環境教育等も展開し、その活動は25年にわたり発展的に継続していることが評価されました。

◇奨励賞

▽エクセラン高等学校（校長 安藤善二）

生徒会活動やボランティア活動ではなく、学校の教育課程として環境保全活動に関わる学習が10年にわたって継続されている例は全国でも稀である。生徒は入れ替わっているが授業内容は発展的に継続しており、生徒もそれに良く応えている。また、薄川の水質調査や外来植物の駆除活動、あるいは公開講座の開催や環境行事への参加などを通じて地域活動にもつながっていることが評価されました。

【信州エコ大表彰式写真】



山浦会長（左端）と賞受賞者の皆様